

## Zoomで何でも読もう会

書物名	『活動寫眞の女』 浅田次郎 著	開催 日時	2021.2.2	推薦 斉藤	
巻・章	全編		Zoom 読み会	出席者	11名

1997年刊。ご存じ浅田次郎のエンタメ小説。

京大に入学した東京育ちの「僕」は大の日本映画ファン。映画館で知り合った同級生の清家君及び「僕」の同じ下宿の大学先輩、早苗さんと3人で太秦の映画村にエキストラのバイトに行くところからドラマが始まる。

3人の前に絶世の美女が現れ、清家君は次第に彼女にのぼせ上がっていくが、何と彼女は30年前に死んだ大部屋女優だった――。

時空を超えて展開する、作者お得意の幻想的恋愛小説である。京大を中心とする東山界隈や太秦・嵯峨野一帯の名所旧跡など、旅情をくすぐるサービス精神満点の小説。

(鑑賞)

二つの恋愛:清家君と亡霊女優、「僕」と早苗先輩それぞれにストーリーがある。

- ・清家君が次第に亡霊の方へなびいていく、最後は二人とも亡霊になってスクリーンから姿を消すあたりを巡って感想が高まった。

「意識」と「現身」の関わり方が面白かった。

清家君も最初から亡霊だったのではというユニークな意見も。

- ・「僕」と早苗先輩に見られるカラッとした男女関係。シニアには戸惑い、学園紛争世代には当たり前だった。

大部屋美人女優:イメージに近いのは誰かで楽しい議論。

山本富士子、木暮実千代、久我喜子、入江たか子、田中絹代など自分勝手に一。

有名監督、有名俳優:マキノ省三、溝口健二、山中貞雄、板妻、嵐寛、千恵蔵などオールスターキャストが登場。

京都に映画が出来た訳、周辺地図:京都生まれのSiさんが資料を用意して詳しく説明。

京都弁の表記について:見にくいとする意見と発音通りで正しいとする意見があり、賑やかだった。

以上